新公立病院改革プラン

【経営効率化編】

令和２年度実績

令和３年１２月２３日

雲南市立病院

新公立病院改革プラン　５年目（令和２年度）実績について
【経営効率化編】

■ 令和2年度決算概要

平成２８年度から令和２年度までの５年計画として策定した「新公立病院改革プラン」の最終年度となる令和２年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を大きく受けた１年となった。

令和元年度に終了した病院建設事業における減価償却費及び企業債償還額の増額により、経常損益を黒字計上することが難しい中、新病院としてスタートする令和２年度の当初予算は収益確保に向けて患者数の増加を目標に掲げたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、入院、外来ともに患者数は減少した。特に入院患者数については、県の要請にて感染症患者を受け入れるため、地域包括ケア病棟へ病床を確保したことにより、一般入院患者の受け入れを制限せざるを得ない状況となるなど影響を受けた。これにより、当初目標としていた入院収益及び外来収益は大きく減収となった。

一方で、病床確保に対する補助金は手厚く充当され、補助金総額は前述の収益減を上回る結果となった。経常収益は４８億２０６万円、経常費用は４９億８，６８９万円で、１億８，４８３万円の経常損失計上（経常収支比率９６．３％）となり、対予算比、対改革プラン比、対前年度比の全てにおいて上回る結果となった。

また、内部留保資金については、令和２年度は病床確保に対する補助金充当もあり３億5，６６５万円の蓄積ができ、繰越内部留保資金は１８億９，０５２万円となった。今後、令和５年以降は病院建設に係る企業債償還額がピークを迎え留保資金の取り崩しが予想されるため、これまで以上に内部留保資金の確保が重要となる。

現在、新型コロナウイルス感染症収束の兆しは未だ見えず、今までにない病院運営の舵取りが必要となっている。本来ならば令和３年度から新たな新公立病院改革ガイドラインに基づく改革プラン（令和３年度～令和７年度）を策定し実施していく予定だったが、これについても新型コロナウイルスの影響で未だガイドラインが示されていない状況となっている。このような中ではあるが、令和３年度以降は当院独自の中期運営基本方針を策定し、健全経営の持続を図り、地域の中核病院として果たすべき役割をいま一度認識し地域住民から信頼される病院を目指していきたい。

■ 目次

１．病院建設に伴う影響　頁

⑴　病院建設に伴う負担 ･･･ 1

①事業費及び資金内訳 ･･･ 1

②返済計画及び負担金額 ･･･ 2

⑵　病院建設に伴う増収予定 ･･･ 2

①個室料による増収 ･･･ 2

②地域包括ケア病床の増床による増収 ･･･ 3

③医療機器の更新による増収 ･･･ 3

④療養環境加算による増収（入院収益） ･･･ 3

⑶　病院建設に伴う償却と戻入について（費用、利益計上） ･･･ 3

⑷　病院建設に伴う資産減耗費と戻入について（特別損失、特別経常） ･･･ 4

⑸　病院建設に伴う主な経費増減 ･･ 4
①増加項目 ･･ 4
②削減項目 ･･ 4

２．職員数計画に伴う影響
⑴　職員数計画 ･･ 5
⑵　給与費の推移 ･･ 5

３．収益確保
⑴　患者数（１日あたり）と病床利用率 ･･････････････････････････････････････ 6
⑵　診療単価 ･･ 6
⑶　収益目標 ･･ 6
⑷　診療行為件数（一月あたり） ･･ 7
⑸　施設基準の取得状況 ･･ 7
⑹　手術件数 ･･ 8
⑺　平均在院日数 ･･ 8
⑻　関連事業 ･･ 8
①保健事業 ･･ 8
②訪問事業 ･･ 9
③診療所事業 ･･ 9

４．費用削減
⑴　業務委託の見直し ･･ 9～10
⑵　材料費の見直し ･･ 10
⑶　繰延勘定償却費 ･･ 10
⑷　報償費 ･･ 10
⑸　経費の目標値 ･･ 11
研究研修費の目標 ･･ 11

５．一般会計繰出金の調整
⑴　繰出金（一般会計負担金）の基準外繰出金の見直し ･･････････････････････････ 12
①基準外繰出金の協議について ･･ 12
②他会計繰入金対医業収益比率 ･･ 12

６．経常収支の目標について
⑴　令和２年度実績 ･･ 12

７．各年度の収支計画
⑴　経営指標 ･･ 13
⑵　収益的収支目標 ･･ 14
⑶　資本的収支目標 ･･ 15

1．病院建設に伴う影響

(1) 病院建設に伴う負担

① 事業費及び資金内訳

病院建設に伴う資金について

上段:スケジュール　下段:資金内訳　　単位:百万円

区　分	H25年度				H26年度				H27年度				H28年度			
月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3			
スケジュール	敷地測量 / 基本設計				実施設計			発注準備	再積算	発注準備	既設改修・引越 解体・外構工事		着工 / 新棟新築工事・外構工事			
出来高	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金
		(30年)	(5年)			(30年)	(5年)			(30年)	(5年)			(30年)	(5年)	
測量・設計・監理				55		104		14		29				40		
建設工事									17	366			99	1,821		
バイオマス設備工事													45	46		
用地・備品・移転										120		0.3		1.7		
医療機器																
小　計	0	0	0	55	0	104	0	14	17	515	0	0.3	144	1,909	0	0.0
単年度計	55				118				532				2,053			
(消費税)					→ 8%											
事務費						2				26		5		31		
総　計	0	0	0	55	0	106	0	14	17	541	0	5	144	1,940	0	0.0
単年度総計	55				120				563				2,084			

区　分	H29年度				H30年度				H31年度				総計			
月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3							
スケジュール	竣工 開院 / 新棟新築工事・外構工事			引越	既設改修工事		引越 解体工事		発熱・外構工事			検査 事業完了				
出来高	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金	補助金	企業債	企業債	自己資金
		(30年)	(5年)			(30年)	(5年)			(30年)	(5年)			(30年)	(5年)	
測量・設計・監理		32				30				9			0	244	0	69
建設工事	460	4,553			64	658			7	391			647	7,789	0	0
バイオマス設備工事													45	46	0	0
用地・備品・移転		41		31		3		21					0	166	0	52
医療機器	18		815										18	0	815	0
小　計	478	4,626	815	31	64	691	0	21	7	400	0	0	710	8,245	815	121
単年度計	5,950				776				407				9,891			
(消費税)									→ 10%							
事務費		50				45				18		9	0	172	0	14
総　計	478	4,676	815	31	64	736	0	21	7	418	0	9	710	8,417	815	135
単年度総計	6,000				821				434				10,077			

② 返済計画及び負担金額　（単位：百万円）

年度	名称	借入金額	金利		償還期限	据置期間	元金	利息	元利合計
H25	－	－	－	－	－	－	－	－	－
H26	病院建設	105.5	0.80%	実績	30年	5年	0.0	0.0	0.0
H27	病院建設	541.4	0.30%	実績	30年	5年	0.0	0.8	0.8
H28	病院建設	1,939.5	0.33%	実績	30年	5年	0.0	2.4	2.4
H29	病院建設	4,675.4	0.33%	実績	30年	5年	0.0	8.8	8.8
	医療器械	814.7	0.01%	実績	5年	1年			
			0.01%	実績	12年	3年			
H30	病院建設	735.4	0.255%	実績	30年	5年	0.0	23.0	23.0
R1	病院建設	416.7	0.153%	実績	30年	5年	101.8	26.2	128.0
R2							105.7	26.8	132.5
R3							126.6	26.8	153.4
R4							172.0	26.7	198.7
R5							324.5	26.4	350.9
R6							354.0	25.5	379.5
R07年度～R12年度までの償還金元利は一定額（ 6年間）							－	－	395.8/年
R13年度～R26年度までの償還金元利は一定額（14年間）							－	－	350.5/年
R27							342.9	3.0	345.9
R28							321.4	2.0	323.4
R29							322.5	0.9	323.4
R30							47.3	0.1	47.4
R31							17.0	0.0	17.0
R32							0.0	0.0	0.0
合計		9,228.6					9,228.6	488.7	9,717.3

※企業債借入合計額 9,228.6 百万円のうち、病院債は 4,614.5 百万円、過疎債は 4,614.1 百万円である。
※利率については、病院債は固定金利だが、過疎債については 10 年毎に見直しのため変動する。
※元金、利息の負担については、雲南市一般会計が負担額の二分の一を負担することとしている。

⑵ 病院建設に伴う増収予定

① 個室料による増収　（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
個室料	11,488	12,090	12,630	38,296	40,690	41,300	36,511	△4,789
利用割合	78.8%	82.9%	86.6%	74.2%	78.8	80.0%	70.7%	△9.3ﾎﾟｲﾝﾄ
前年比		602	540	25,666	2,394		△4,179	

※計画では、平成 27 年度対比 29,812 千円の収益増、利用率 80%としていたが、令和 2 年度実績では、36,511 千円、70.7%となった。
※新型コロナウイルス感染症の流行により地域包括ケア病棟を感染症病床へ転換したことにより減収となった。

② 地域包括ケア病床の増床による増収

	計画	実 績	比 較
増収額	13,140 千円	―	―

※令和2年度は、地域包括ケア病棟(3階東病棟)を新型コロナウイルス感染症受け入れ病棟として使用しており、実績を計上することが不可能となった。

③ 医療機器の更新による増収

	計 画	実 績	比 較
C T	10,575 千円	5,690 千円	△4,885 千円
MRI	11,164 千円	4,489 千円	△6,675 千円
合 計	21,739 千円	10,179 千円	△11,560 千円

※ＣＴについては、計画では単価 10,000 円を見込んでいたが、平成 30 年機器更新時の単価は 9,000 円であったため減額となった。ＭＲＩについては、患者数の減により減額となった。

④ 療養環境加算による増収（入院収益）

	計 画	実 績	比 較
療養環境加算	9,444 千円	9,635 千円	191 千円

※計画では、加算が算定できない個室数が 40 床であったが、平成 30 年に 42 床に増えたことなどにより増額となった。

⑶ 病院建設に伴う償却と戻入について(費用、利益計上)　（単位：千円）

		①減価償却費		②長期前払消費税償却		③長期前受金戻入	
		当年度	通期	当年度	通期	当年度	通期
H28年度	実績	0	0	1,580	1,580	0	0
H29年度	実績	22,628	22,628	7,420	9,000	2,403	2,403
H30年度	実績	404,708	427,336	31,560	40,560	24,734	27,137
R1年度	実績	37,244	464,580	2,935	43,495	324	27,461
R2年度	計画	8,438	494,343	1,120	44,465	159	30,286
	実績	55,472	516,292	1,550	45,045	5,599	32,360
	比較	47,034	21,949	430	580	5,440	2,074

※平成 30 年度から令和元年度の２年間にかけて行った旧棟の解体撤去工事の減価償却を令和２年度からまとめて開始したため、令和２年度の①減価償却費・③長期前受金戻入について増額となった。

※令和元年度に行った駐車場整備及び外構工事等のすべての建設事業を終了し、通期の実績を計画と比較すると、①～③のすべてにおいて増額となった。

⑷ 病院建設に伴う資産減耗費と戻入について（特別損失、特別利益計上）

	項目		①資産減耗費	②長期前受金戻入
H28年度	医師住宅・文化倉庫・介護施設取り壊し	実績	69,478 千円	0 千円
H29年度	医療機器更新による廃棄	実績	54,257 千円	7,405 千円
H30年度	西棟本館他取り壊し	実績	0 千円	0 千円
R1年度	西棟本館他取り壊し	実績	218,774 千円	9,265 千円
R2年度		計画	―	―
		実績	0 千円	0 千円
		比較	―	―

※①資産減耗費については 5 ケ年計画総額 330,000 千円に対し、実績は 342,509 千円となり 12,509 千円の増額となった。要因は H29 年度に行った医療機器更新による廃棄が計画より 14,257 千円増額だったことによる。

※②長期前受金戻入については 5 ケ年計画総額 15,300 千円に対し、実績は 16,670 千円となり 1,370 千円の増額となった。要因は同上。

⑸ 病院建設に伴う主な経費増減

① 増加項目

	計 画	実 績	比 較
（ア）保守料	7,000 千円	34,214 千円	27,214 千円
（イ）電気料	17,000 千円	17,679 千円	679 千円

（ア）保守料

○計画： 7,000 千円（ＣＴ、ＭＲＩ、電子カルテ）

○実績：34,214 千円

※①ＣＴ、ＭＲＩ、電子カルテ等・・・・・・・・・・・ 1,976 千円増

②昇降、電気、消防設備、医療ガス、衛生設備・・・32,238 千円増

（イ）電気料

○計画：17,000 千円

○実績：17,679 千円（値上げ分差し引き後 16,155 千円）

・電気使用量の増

H27 年度：2,766,264kwh

R2 年度：3,665,785kwh ⇒ 899,521kwh 増（1.33 倍増）※計画 1.4 倍

・電気料金の値上げ

燃料調整単価 H27 年度：－ 507 千円

R2 年度：－5,701 千円（5,194 千円減）

再エネ付加金 H27 年度： 4,198 千円

R2 年度： 10,916 千円（6,718 千円増）

② 削減項目

削減額	計 画	実 績	比 較
水道料	4,630 千円	4,188 千円	△442 千円

※井水利用割合を、計画では上水 6：井水 4 としていたが、井水を利用する範囲が絞られたため、上水 9：井水 1 と計画より比率が下がり、削減額が減少した。

2. 職員数計画に伴う影響

(1) 職員数計画

基準日：令和３年４月１日　　（単位：人）

職　種	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	対前年度
① 医師	21	24	24	25	28	30	2
歯科医師	－	－	－	1	1	1	0
② 看護部長	1	1	1	1	1	1	0
③ 看護師	123	123	125	122	130	135	5
④ 助産師	6	8	7	8	8	8	0
⑤ 准看護師	3	3	3	4	3	3	0
⑥ 保健師	2	2	3	3	3	3	0
⑦ 看護助手	9	9	9	9	8	7	△1
⑧ 薬剤師	6	6	6	7	7	7	0
⑨ 検査技師	11	11	11	12	12	12	0
⑩ 放射線技師	7	8	8	8	8	8	0
⑪ 臨床工学技士	1	1	1	2	2	2	0
⑫ 視能訓練士	2	2	2	1	1	1	0
⑬ 理学療法士	17	20	20	21	22	21	△1
⑭ 作業療法士	10	12	12	11	12	13	1
⑮ 言語聴覚士	2	2	2	2	2	2	0
⑯ 管理栄養士	3	3	3	3	3	4	1
⑰ 調理師	10	10	9	8	8	8	0
⑱ 事務員(副管理者含む)	18	18	18	20	19	18	△1
⑲ 相談員	2	3	3	3	3	3	0
合　計	254	266	267	271	281	287	6

※医師数については、会計年度職員（R1 年度までは嘱託職員）を含む。

※平成 31 年４月、経営統合により掛合診療所が市立病院の附属診療所となったことにより、歯科医師１名及び准看護師１名が市立病院職員となり、また市立病院から医師１名、事務員１名を配置した。

※令和３年４月の医師数について、外科２名、地域ケア科１名が増、整形外科１名が減となり、令和３年度は、31 名（会計年度職員３名含む）でスタートしている。採用状況について、看護師は、令和２年度は採用予定人数を超える応募があり、必要人員の確保と体制強化が図られている。

(2) 給与費の推移

（単位：千円）

項　目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		計画対比
						計画	実績	
医業費用給与	2,337,064	2,293,826	2,547,061	2,656,673	2,648,190	2,497,000	2,743,164	246,164
訪問看護給与	60,788	58,712	61,854	61,023	58,530	61,000	60,479	△521
療養病床給与	128,292	134,309	38,253	0	0	132,000	0	△132,000
診療所給与費	－	－	－	－	70,930	－	71,123	71,123
合　計	2,526,144	2,486,847	2,647,168	2,717,696	2,777,650	2,690,000	2,874,766	184,766

※平成 29 年７月より介護療養病棟から医療療養病棟へ転換したことにより、療養病床給与費から医業費用給与費へ科目変更した。

※令和元年度より掛合診療所を市立病院化したことにより診療所費用を新設した。

※令和２年４月会計年度任用職員制度導入により、これまで経費の報償費で計上していた非常勤医師報償費を、医業費用給与費に科目変更した。令和２年度の非常勤医師給与費は 162,546 千円で、非常勤医師給与費を除くと 2,580,618 千円となり、制度導入前の医業費用給与費計画と比較すると 83,618 千円の増額となった。

3. 収益確保

(1) 患者数(1日あたり)と病床利用率

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 計画	R2年度 実績	計画対比
一般病棟	患者数	143.3人	147.1人	149.1人	145.5人	142.1人	140.0人	138.3人	△1.7人
	病床利用率	89.6%	91.9%	93.2%	93.9%	91.6%	90.3%	89.2%	△1.1ポイント
包括ケア病棟	患者数	40.1人	39.0人	39.3人	43.0人	41.7人	44.0人	16.3人	△27.7人
	病床利用率	93.3%	90.7%	91.3%	89.5%	86.9%	91.6%	33.9%	△57.7ポイント
回復期リハ病棟	患者数	28.5人	28.3人	29.6人	29.8人	29.7人	27.0人	29.7人	2.7人
	病床利用率	94.9%	94.4%	98.8%	99.3%	99.1%	90.0%	99.0%	9.0ポイント
療養病棟	患者数	42.1人	41.9人	38.2人	37.2人	37.3人	44.0人	40.6人	△3.4人
	病床利用率	87.6%	87.3%	79.6%	77.5%	77.7%	91.7%	84.5%	△7.2ポイント
合計	患者数	254.0人	256.3人	256.2人	255.5人	250.8人	255.0人	224.8人	△30.2人
	病床利用率	90.4%	91.2%	91.2%	90.9%	89.2%	90.7%	80.0%	△10.7ポイント

外来	患者数	395.4人	388.4人	385.4人	398.9人	413.0人	420.0人	379.5人	△40.5人
診療所	患者数	-	-	-	-	30.0人	-	31.3人	-

(2) 診療単価

(単位：円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 計画	R2年度 実績	計画対比
一般病棟	33,233	33,476	33,130	32,229	33,809	33,600	33,668	68
包括ケア病棟	32,030	32,581	32,052	32,295	32,795	31,500	32,533	1,033
回復期リハ病棟	25,352	28,385	28,284	28,293	28,180	26,800	30,063	3,263
療養病棟	15,455	15,488	15,781	19,348	18,651	15,430	18,093	2,663

外来	7,887	7,881	8,215	8,132	8,147	8,200	8,234	34
診療所	-	-	-	-	5,847	-	5,759	-

(3) 収益目標

(単位：千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 計画	R2年度 実績	計画対比
一般病棟	1,742,781	1,797,822	1,802,661	1,712,292	1,757,783	1,717,000	1,699,314	△17,686
包括ケア病棟	470,163	463,732	459,210	506,612	500,457	506,000	193,344	△312,656
回復リハ病棟	264,221	293,499	306,008	307,491	306,680	264,000	325,768	61,768
医療療養病棟	-	-	165,752	262,721	254,627	248,000	267,974	19,974
入院収益	2,477,165	2,555,053	2,733,631	2,789,116	2,819,547	2,735,000	2,486,400	△248,600
介護療養病棟	237,961	236,928	54,457	-	-	-	-	-

外来	757,776	743,758	766,242	791,552	810,799	836,000	759,342	△76,658
診療所	ー	-	-	-	45,367	-	43,787	-

※療養病棟は、平成29年6月までは介護療養病棟、7月から医療療養病棟へ転換

※平成31年4月より掛合診療所及び波多出張所の経営統合を図った。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者・外来患者ともに患者数が減少した。特に入院については、感染患者を受け入れる病棟の病床利用率は大幅に減少した。これに伴い、収益は計画よりも大幅に減少した。

⑷ 診療行為件数(一月あたり)

項　目		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 計画	R2年度 実績	計画対比
脳血管リハビリテーション	(単位/月)	1,800	2,077	2,558	2,374	2,498	2,000	2,580	580
運動器リハビリテーション	(単位/月)	4,050	4,463	4,565	4,437	4,406	4,500	3,693	△807
呼吸器リハビリテーション	(単位/月)	66	21	16	43	53	70	218	148
がん患者リハビリテーション	(単位/月)	－	225	167	238	132	230	45	△185
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ総合計画評価料	(件/月)	168	184	170	147	147	170	181	11
人工透析	(件/月)	231	221	269	273	267	230	256	26
薬剤管理指導	(件/月)	319	308	202	191	213	320	164	△156
退院時薬剤情報管理指導	(件/月)	13	10	6	3	3	20	6	△14
無菌製剤処理料	(件/月)	102	112	70	11	47	110	51	△59
薬剤総合評価調整加算	(件/月)	－	3	2	2	4	10	7	△3
上部内視鏡検査	(件/月)	514	503	526	550	567	520	511	△9
下部内視鏡検査	(件/月)	38	39	47	51	51	40	46	6
腹部超音波検査	(件/月)	230	231	225	218	229	230	279	49
心臓超音波検査	(件/月)	61	65	62	52	67	70	67	△3
頚動脈超音波検査	(件/月)	8	8	10	10	12	10	8	△2
下肢静脈超音波検査	(件/月)	14	17	15	18	18	20	27	7
乳腺超音波検査	(件/月)	19	23	27	28	17	20	12	△8
マンモグラフィー	(件/月)	70	80	77	75	78	70	61	△9
心電図検査	(件/月)	605	610	607	623	615	610	584	△26
ホルター心電図検査	(件/月)	8	6	6	6	5	10	5	△5
脳波検査	(件/月)	4	4	6	5	7	10	7	△3
CT	(件/月)	383	367	366	406	408	400	381	△19
MRI	(件/月)	227	212	203	196	205	230	186	△44
外来栄養食事指導料	(件/月)	30	33	42	39	40	30	36	6
入院栄養食事指導料	(件/月)	9	10	13	15	22	10	31	21
退院支援加算1→入退院支援加算	(件/月)	－	41	39	31	34	70	40	△30
人間ドック	(件/月)	70	74	72	73	77	80	74	△6
各種健診	(件/月)	191	199	203	222	229	200	233	33
オプション検診	(件/月)	300	322	319	393	489	320	333	13
特定健康診査	(件/月)	37	37	37	41	42	45	40	△5
特定保健指導	(件/月)	16	26	13	10	12	20	12	△8
予防接種	(件/月)	256	300	330	323	321	270	377	107

⑸ 施設基準の取得状況

名　　称	取得年日	実績額
婦人科特定疾患治療管理料	令和元年 12 月	1,099,000 円
外来化学療法加算１	令和２年８月	342,000 円
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	令和２年９月	1,260,000 円
遠隔モニタリング加算 （在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料２）	令和２年 12 月	174,000 円
短期滞在手術等基本料３ （小児食物アレルギー負荷検査）	令和２年 12 月	281,500 円
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和３年１月	370,000 円
在宅患者訪問看護・指導料	令和３年１月	38,550 円

⑹ 手術件数

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		計画対比
						計 画	実 績	
手術件数	83 件	79 件	75 件	70 件	71 件	100 件	62 件	△38 件

⑺ 平均在院日数

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		計画対比
						計 画	実 績	
一般病床	19.4 日	19.1 日	19.8 日	20.0 日	19.4 日	20.0 日	18.7 日	△1.3 日

⑻ 関連事業

① 保健事業 （単位：件／千円）

		人間ドック		各種健診		オプション検査		特定健康診査	
		件 数	収 益	件 数	収 益	件 数	収 益	件 数	収 益
H27年度	実績	842	28,928	2,292	34,931	3,598	18,445	449	3,777
H28年度	実績	887	30,583	2,473	37,242	3,872	18,751	444	3,735
H29年度	実績	866	29,795	2,434	37,357	3,829	18,590	439	3,717
H30年度	実績	881	30,166	2,659	41,587	4,718	18,299	496	4,200
R1年度	実績	922	31,830	2,752	41,660	5,862	21,248	500	4,306
R2年度	計画	960	33,000	2,400	36,000	3,840	20,000	540	4,000
	実績	893	30,813	2,795	42,277	4,001	18,205	477	4,254
	比較	△67	△2,187	395	6,277	161	△1,795	△63	254

		特定保健指導		予防接種		合 計	
		件 数	収 益	件 数	収 益	件 数	収 益
H27年度	実績	197	1,662	3,077	23,526	10,455	111,269
H28年度	実績	311	2,625	3,596	26,805	11,583	119,741
H29年度	実績	157	2,384	3,957	30,241	11,682	122,084
H30年度	実績	121	1,302	3,872	28,717	12,747	124,271
R1年度	実績	143	2,481	3,851	28,089	14,030	129,614
R2年度	計画	240	2,000	3,240	25,000	11,220	120,000
	実績	138	2,158	4,521	33,058	12,825	130,765
	比較	△102	158	1,281	8,058	1,605	10,765

※増収目標は令和 2 年度に平成 27 年度対比で 9,000 千円の増収計画。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施件数が減ったものの、収益は前年度比 1,151 千円、計画比 10,765 千円の増収が図れた。引き続き予防活動の推進に努めたい。

② 訪問事業　（単位：人／千円）

項　目		医療保険		介護保険		その他		合　計	
		患者数	収　益	患者数	収　益	患者数	収　益	患者数	収　益
H27年度	実績	2,577	26,082	4,350	33,808	153	790	7,080	60,680
H28年度	実績	2,366	24,003	5,052	39,408	190	973	7,608	64,384
H29年度	実績	2,460	24,967	5,030	38,452	185	937	7,675	64,356
H30年度	実績	2,122	21,700	4,770	36,255	0	0	6,892	57,955
R1年度	実績	1,977	20,245	4,766	36,050	0	0	6,743	56,295
R2年度	計画	2,806	28,000	4,392	35,000	166	1,000	7,364	64,000
	実績	2,302	22,921	4,682	35,259	0	0	6,984	58,180
	比較	△504	△5,079	290	259	△166	△1,000	△380	△5,820

※増収目標は令和２年度に平成27年度比で3,000千円の増収計画。平成30年度以降は、宇寿荘との契約終了に伴いその他の収益が減収となった。
※令和２年度は、患者数の未達により医療保険収益が減収となった。

③ 診療所事業　（単位：人／千円）

項　目		医科		歯科		その他医業収益＊	合　計	
		患者数	収　益	患者数	収　益	収　益	患者数	収　益
R1年度	実績	5,565	27,225	2,194	18,142	10,811	7,759	56,178
R2年度	計画	－	－	－	－	－	－	－
	実績	5,715	27,933	1,888	15,854	10,620	7,603	54,407
	比較	－	－	－	－	－	－	－

＊その他医業収益（公衆衛生活動収益、医療相談収益、その他医業収益）
※平成31年４月より掛合診療所及び波多出張所の経営統合を図った。
※令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科の患者数が減少し前年度と比較して収益が減収となった。

４．費用削減

⑴ 業務委託の見直し　（単位：千円）

項　目	H27年度（実績）	H28年度（実績）	H29年度（実績）	H30年度（実績）	R1年度（実績）	R2年度（実績）
① 医事業務	101,232	98,118	96,003	96,444	99,843	103,102
② 清掃業務	46,224	46,224	47,830	55,500	66,000	68,262
③ 警備業務	27,120	27,120	27,120	28,080	28,097	28,082
④ 施設業務	17,820	17,820	18,445	25,000	27,158	26,727
⑤ 給食業務	委託検討	→	→	→	→	―
合　計	192,396	189,282	189,398	205,024	221,098	226,173

※改善目標は、令和 2 年度に平成 27 年度比で 10,000 千円の削減計画だが、以下の理由により、令和 2 年度実績で平成 27 年度対比 33,777 千円の増額となった。

【業務委託の現状】

① 医事業務について、令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症対策として検温業務の委託を追加したため増額となった。

② 清掃業務は、建設に伴う清掃エリアの増により増額となった。

③ 警備業務は、建設に伴う警備エリア、警備業務量の増により増額となった。

④ 施設業務は、建設に伴う管理設備の増により増額となった。

⑵ 材料費の見直し

（単位：千円）

項　目		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①診療材料（SPD）		224,195	205,353	221,032	204,586	228,485	211,044
②薬品（SPD）		292,721	302,583	308,110	278,068	268,606	242,514
③後発医薬品に切替			実施	→	→	→	→
	後発品使用比率	30%	62.1%	77.3%	86.7%	86.3%	88.6%
④その他の材料費		45,838	48,026	55,261	58,600	54,795	51,193
合　計（①+②+④）		562,754	555,962	584,403	541,254	551,887	504,751

※改善目標は、①②④の材料費では令和 2 年度に平成 27 年度比で 5,000 千円の削減、③の後発医薬品使用比率を 80%とする計画であるが、令和 2 年度実績では、①②④の材料費では、58,003 千円の削減が図れ、③の使用比率は 88.6%と目標を達成した。

⑶ 繰延勘定償却費

（単位：千円）

項　目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
繰延償却費	9,024	4,060	4,060	0	0	0	0	0

※改善目標は、令和 2 年度に平成 27 年度比で 9,000 千円削減計画であったが、平成 30 年度に目標を達成した。

⑷ 報償費

（単位：千円）

項　目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
報償費	170,860	178,767	176,619	178,528	170,418	150,000	0	△150,000

※改善目標は平成 27 年度対比で 20,000 千円、平成 28 年度対比で 40,000 千円の削減。

※令和 2 年 4 月からの会計年度任用職員制度の導入に伴い、報償費は給与費報酬へ科目異動した。令和 2 年度の給与費報酬のうち、旧報償費にあたる額は 162,546 円で、平成 27 年度と比較すると 8,314 千円の削減、平成 28 年度と比較すると 16,221 千円の削減が図れたが改善目標には達していない。令和 2 年度の計画と比較すると 12,546 千円の増額となった。常勤医師の増員は図れたものの、非常勤医師への給与削減は計画に達しなかった。

⑸ 経費の目標値

（単位：千円　税抜）

項　目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
厚生福利費	1,252	1,550	1,485	1,664	1,755	2,100	1,431	△669
報償費	170,860	178,767	176,619	178,528	170,418	150,000	0	△150,000
旅費交通費	6,649	5,625	6,921	5,971	5,206	6,500	8,157	1,657
職員被服費	8,386	6,758	14,644	11,313	12,629	8,000	11,837	3,837
消耗品費	7,743	8,166	8,527	9,248	7,889	8,000	8,619	619
消耗備品費	3,666	4,235	1,889	2,059	2,651	3,500	7,385	3,885
光熱水費	62,030	60,121	69,004	85,152	82,304	78,000	73,173	△4,827
燃料費	28,176	26,860	30,478	37,750	36,667	29,500	29,011	△489
食糧費	108	120	122	57	59	200	54	△146
印刷製本費	1,999	964	1,142	1,877	1,485	2,000	1,003	△997
修繕費	31,675	39,047	36,911	27,200	35,087	31,000	65,358	34,358
保険料	6,329	6,429	6,007	6,793	7,338	6,400	5,876	△524
賃借料	41,605	42,376	46,946	50,679	56,537	45,400	55,018	9,618
通信運搬費	8,621	6,382	6,503	6,962	6,772	8,000	6,882	△1,118
委託料	217,150	217,024	217,588	230,488	247,607	211,000	251,894	40,894
手数料	167	167	151	539	791	200	931	731
負担金	2,098	2,102	2,172	2,132	2,100	2,200	2,070	△130
保安費	65,423	65,091	65,533	60,714	103,119	74,800	102,001	27,201
衛生費	13,236	20,569	24,021	23,136	23,623	24,000	23,617	△383
広告料	740	145	280	339	265	900	343	△557
交際費	1,114	882	970	1,149	1,100	1,100	512	△588
公租公課	43	55	39	20	43	100	55	△45
貸倒引当金繰入額	200	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	0
雑費	7,104	6,571	7,133	5,544	7,150	6,800	4,931	△1,869
合　計	686,374	701,106	726,185	750,414	813,695	700,800	661,258	△39,542

※報償費を給与費報酬へ科目異動したことで 150,000 千円減額したものの、新型コロナウイルス感染症に要する経費として、消耗備品費・修繕費・委託料などが増額となった。計画と比較すると全体では 39,542 千円の減額となったが、実質の経費は増額となった。

研究研修費の目標

（単位：千円　税抜）

項　目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
謝金	368	310	1,008	1,105	1,097	500	511	11
図書費	3,640	5,050	5,227	5,166	3,979	5,100	4,240	△860
旅費	4,388	6,091	6,866	5,964	7,323	5,000	618	△4,382
研究雑費	3,324	6,821	6,850	8,099	7,154	5,400	6,085	685
合　計	11,720	18,272	19,951	20,334	19,553	16,000	11,454	△4,546

※令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県外出張を制限したため旅費が減額となった。

5. 一般会計繰出金の調整

(1) 繰出金(一般会計負担金)の基準外繰出金の見直し

① 基準外繰出金の協議について

・地方公営企業として運営される病院は、自らの経営による受益者からの収入をもってサービスを提供するための経費に充てることが原則（独立採算の原則）となっている。しかし、自治体立病院は、政策医療等の不採算分野も担うことが求められていることから、当該自治体の一般会計が一定の負担をすべきものとして地方公営企業法に経費負担の原則が定められている。この一般会計から負担すべき経費の項目と基準については総務省の「地方公営企業繰出基準」により示されており、当院が果たすべき役割を着実に実行するため、雲南市と協議しながら決定している。

・平成 29 年度より、ルール化の算定方式を定め、基準外繰出金の解消を図った。

・平成 31 年 4 月より掛合診療所及び波多出張所の経営統合を図ったことにより、「公立病院附属診療所の運営に要する経費」を追加した。

・令和 2 年 4 月より、総務省地方公営企業繰出金通知により「不採算地区に所在する中核的な病院の機能の維持に要する経費」を追加した。

② 他会計繰入金対医業収益比率　（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
基　準　内	267,350	272,708	429,876	428,948	530,657	516,935	554,046	37,111
基　準　外	187,323	172,045	0	0	0	0	0	0
3条繰入金計	454,673	444,753	429,876	428,948	530,657	516,935	554,046	37,111
医 業 収 益	3,823,359	3,902,945	3,979,499	4,025,831	4,141,565	4,040,007	3,639,669	△400,338
比　　率	11.9%	11.4%	10.8%	10.7%	12.8%	12.8%	15.2%	2.4ポイント

※比率　＝　３条繰入金／医業収益

※全国の自治体立同規模病院の令和 1 年度実績は 15.9%である。

※比率が低いほど繰入額は少ない。

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が減収し、比率が 15%台となったが、当院の繰出金は県内及び全国の自治体病院の中においても、対医業収益比率が下回った中で経営を図っている。

6. 経常収支の目標について

(1) 令和２年度実績　（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
						計画	実績	計画対比
経常収支	34,160	130,855	△60,271	△449,105	△469,998	△417,742	△184,834	232,908

※H28 年度までの黒字計上に対して、H29 年度から令和 1 年度は赤字計上となった。令和 2 年度も引き続き、184,834 千円の赤字計上となった。新型コロナウイルス感染症関連の補助金を 618,738 千円受けたことで計画よりも改善したが、補助金充当がなかった場合、計画に達していなかった。

7. 各年度の収支計画

(1) 経営指標

科　目			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
								計画	実績	計画対比
経常収支比率			100.8%	103.1%	98.6%	90.7%	90.7%	91.4%	96.3%	4.9ポイント
医業収支比率			95.0%	97.4%	94.7%	86.9%	86.0%	86.7%	78.9%	△7.8ポイント
入院	一般病棟									
		病床数	160床	160床	160床	155床	155床	155床	155床	0床
		看護配置	10対1	10対1	10対1	10対1	10対1	10対1	10対1	－
		平均患者数	143.3人	147.1人	149.1人	145.5人	142.1人	140.0人	138.3人	△1.7人
		平均単価	33,233円	33,476円	33,130円	32,229円	33,809円	33,600円	33,668円	68円
		病床利用率	89.6%	91.9%	93.2%	93.9%	91.6%	90.3%	89.2%	△1.1ポイント
		平均在院日数	19.4日	19.1日	19.8日	20.0日	19.4日	19.0日	18.7日	△0.3日
	地域包括ケア病棟									
		病床数	43床	43床	43床	48床	48床	48床	48床	0床
		平均患者数	40.1人	39.0人	39.3人	43.0人	41.7人	44.0人	16.3人	△27.7人
		平均単価	32,030円	32,581円	32,052円	32,295円	32,795円	31,500円	32,533円	1,033円
		病床利用率	93.3%	90.7%	91.3%	89.5%	86.9%	91.6%	33.9%	△57.7ポイント
	回復期リハビリ病棟									
		病床数	30床	30床	30床	30床	30床	30床	30床	0床
		平均患者数	28.5人	28.3人	29.6人	29.8人	29.7人	27.0人	29.7人	2.7人
		平均単価	25,352円	28,385円	28,284円	28,293円	28,180円	26,800円	30,063円	3,263円
		病床利用率	94.9%	94.4%	98.8%	99.3%	99.1%	90.0%	99.0%	9.0ポイント
	療養病棟									
		病床数	48床	48床	48床	48床	48床	48床	48床	0床
		平均患者数	42.1人	41.9人	38.2人	37.2人	37.3人	44.0人	40.6人	△3.4人
		平均単価	15,455円	15,488円	15,781円	19,348円	18,651円	15,430円	18,093円	2,663円
		病床利用率	87.6%	87.3%	79.6%	77.5%	77.7%	91.7%	84.5%	△7.2ポイント
外来	平均患者数		395.4人	388.4人	385.4人	398.9人	413.0人	420.0人	379.5人	△40.5人
	平均単価		7,887円	7,881円	8,215円	8,132円	8,147円	8,200円	8,234円	34円
診療所	平均患者数		－	－	－	－	30.0人	－	31.3人	－
	平均単価		－	－	－	－	5,847円	－	5,759円	－
給与費対医業収益比率（決算統計の算出方法）			53.2%	50.8%	53.8%	54.7%	54.3%	54.2%	68.5%	14.3ポイント
材料費対医業収益比率（決算統計の算出方法）			15.4%	14.8%	14.8%	13.4%	13.5%	14.1%	13.6%	△0.5ポイント

⑵ 収益的収支目標

（単位：千円　税抜）

科目／年度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		実績	実績	実績	実績	実績	計画	実績	計画対比
収益的収入	1．事業収益	4,243,293	4,299,553	4,313,228	4,394,097	4,596,625	4,458,891	4,802,055	343,164
	（1）医業収益	3,522,921	3,600,407	3,860,709	3,967,734	4,028,943	3,687,296	3,639,669	△ 47,627
	ア．入院収益	2,477,165	2,555,053	2,733,631	2,789,116	2,819,547	2,487,000	2,486,400	△ 600
	イ．外来収益	757,776	743,758	766,242	791,552	810,799	836,000	759,342	△ 76,658
	ウ．その他医業収益	163,374	174,549	177,061	211,879	220,373	236,200	218,895	△ 17,305
	エ．一般会計負担金	124,606	127,047	183,775	175,187	178,224	128,096	175,032	46,936
	（2）医業外収益	413,871	395,212	325,469	366,015	399,433	458,495	995,011	536,516
	ア．受取利息配当金	461	201	213	246	190	200	535	335
	イ．一般会計補助金	81,883	71,833	161,668	153,221	193,191	124,240	207,276	83,036
	ウ．補助金	34,496	27,332	26,535	22,999	23,682	15,000	600,648	585,648
	エ．一般会計負担金（ルール化分）	60,861	73,828	84,433	100,540	114,336	264,599	122,540	△ 142,059
	〃　（基準外分）	187,323	172,045	0	0	0	0	0	0
	オ．患者外給食収益	818	697	762	995	884	840	652	△ 188
	カ．長期前受金戻入	29,430	30,171	26,325	47,230	40,248	35,116	38,197	3,081
	キ．その他医業外収益	18,599	19,105	25,533	40,784	26,902	18,500	25,163	6,663
	（3）訪問看護収益	61,436	65,514	64,952	60,061	57,894	64,100	59,910	△ 4,190
	ア．外来収益	60,680	64,384	63,864	57,956	56,295	64,000	58,180	△ 5,820
	イ．その他医業収益	756	1,130	1,088	2,105	1,599	100	1,730	1,630
	（4）療養病床収益	239,002	237,966	54,693	0	0	249,000	0	△ 249,000
	ア．外来収益	237,961	236,928	54,457	0	0	248,000	0	△ 248,000
	イ．その他医業収益	1,041	1,038	236	0	0	1,000	0	△ 1,000
	（5）診療所収益	0	0	0	0	101,090	0	107,465	107,465
	ア．外来収益	0	0	0	0	45,367	0	43,787	43,787
	イ．その他医業収益	0	0	0	0	10,811	0	10,620	10,620
	ウ．医業外収益	0	0	0	0	44,912	0	53,058	53,058
収益的支出	2．事業費用	4,203,070	4,237,722	4,420,351	4,842,915	5,276,132	4,876,633	4,986,889	110,256
	（1）医業費用	3,789,198	3,781,347	4,092,454	4,567,738	4,651,417	4,376,800	4,580,384	203,584
	ア．給与費	2,337,064	2,293,826	2,547,061	2,656,673	2,648,190	2,497,000	2,743,164	246,164
	イ．材料費	562,754	555,962	584,403	541,254	551,887	540,000	504,751	△ 35,249
	ウ．経費	686,374	701,106	726,185	750,414	813,695	700,800	661,258	△ 39,542
	エ．減価償却費	187,734	207,398	214,854	596,171	616,814	619,000	654,919	35,919
	オ．資産減耗費	3,552	4,783	0	2,892	1,278	4,000	4,838	838
	カ．研究研修費	11,720	18,272	19,951	20,334	19,553	16,000	11,454	△ 4,546
	（2）医業外費用	179,128	160,709	164,868	211,632	238,501	260,633	233,905	△ 26,728
	ア．支払利息及び企業債取扱諸費	53,164	50,146	52,125	60,839	58,917	75,448	54,512	△ 20,936
	イ．患者外給食材料費	563	741	560	449	548	700	765	65
	ウ．消費税及び地方消費税	94,865	86,952	80,420	88,844	108,648	122,300	118,360	△ 3,940
	エ．その他医業外費用	15,767	12,660	17,133	20,220	26,173	17,000	14,503	△ 2,497
	オ．繰延勘定償却	9,024	4,060	4,060	0	0	0	0	0
	カ．長期前払消費税勘定償却	5,745	6,150	10,570	41,280	44,215	45,185	45,765	580
	（3）訪問看護費用	64,056	60,915	63,770	63,545	60,514	64,000	63,734	△ 266
	ア．給与費	60,788	58,712	61,854	61,023	58,530	61,000	60,479	△ 521
	イ．その他費用	3,268	2,203	1,916	2,522	1,984	3,000	3,255	255
	（4）療養病床費用	170,688	165,273	45,002	0	0	175,200	0	△ 175,200
	ア．給与費	128,292	134,309	38,253	0	0	132,000	0	△ 132,000
	イ．その他費用	32,588	25,561	6,749	0	0	28,000	0	△ 28,000
	ウ．減価償却費	9,808	5,403	0	0	0	15,200	0	△ 15,200
	（5）診療所費用	0	0	0	0	106,926	0	108,866	108,866
	ア．給与費	0	0	0	0	70,930	0	71,123	71,123
	イ．その他費用	0	0	0	0	22,030	0	23,777	23,777
	ウ．減価償却費	0	0	0	0	13,966	0	13,966	13,966
3．経常損益		34,160	130,855	△ 60,271	△ 449,105	△ 469,998	△ 417,742	△ 184,834	232,908
（1）特別利益		6,063	454	7,405	287	9,265	0	0	0
（2）特別損失		0	69,478	54,257	0	218,774	0	0	0
4．当期純損益		40,223	61,831	△ 107,123	△ 448,818	△ 679,507	△ 417,742	△ 184,834	232,908
5．未処分利益剰余金		80,611	142,442	35,319	△ 413,499	△ 1,093,006	△ 1,566,665	△ 1,277,840	288,825

⑶ 資本的収支目標

（単位：千円　税抜）

科目／年度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		実績	実績	実績	実績	実績	計画	実績	計画対比
資本的収支（税込）	１．収入	868,560	2,280,784	6,142,432	1,072,547	739,809	335,196	328,011	△ 7,185
	（１）企業債	679,700	2,033,900	5,490,100	826,500	503,900	80,000	88,300	8,300
	（２）一般会計出資金（ルール化分）	139,799	145,454	173,763	178,437	224,359	255,196	201,709	△ 53,487
	〃　（基準外ルール化分）	2,706	0	0	0	0	0	0	0
	（３）固定資産売却代	19,967	0	0	0	0	0	0	0
	（４）補助金	25,928	99,722	477,561	67,086	9,750	0	37,942	37,942
	（５）投資償還収入	460	1,708	1,008	524	1,800	0	60	60
	２．支出	941,848	2,376,108	6,256,452	1,201,400	913,303	545,574	479,099	△ 66,475
	（１）建設改良費	718,916	2,139,292	5,996,727	919,381	529,555	80,000	126,757	46,757
	（２）企業債償還金	218,732	233,116	257,225	280,219	383,748	460,774	351,742	△ 109,032
	（３）投資その他の資産	4,200	3,700	2,500	1,800	0	4,800	600	△ 4,200
	３．資本的収支不足額	73,288	95,324	114,020	128,853	173,494	210,378	151,088	△ 59,290
補てん財源	（１）損益勘定留保資金	62,478	87,153	113,917	121,537	165,860	203,078	143,006	△ 60,072
	（２）その他（４条消費税）	10,810	8,171	103	7,316	7,634	7,300	8,082	782
	補てん財源合計	73,288	95,324	114,020	128,853	173,494	210,378	151,088	△ 59,290
内部留保資金	（１）減価償却費	197,542	212,801	214,854	596,171	630,780	634,200	668,885	34,685
	（２）資産減耗費	3,552	74,261	54,257	2,892	220,052	4,000	4,842	842
	（３）繰延勘定償却費	9,024	4,060	4,060	0	0	0	0	0
	（４）長期前払消費税勘定償却	5,745	6,150	10,570	41,280	44,215	45,185	45,765	580
	（５）看護師確保経費（奨学金）	0	0	2,400	1,800	6,000	0	0	0
	（６）その他（４条消費税）	10,810	8,171	103	7,316	7,634	7,300	8,082	782
	（７）長期前受金戻入	△ 30,518	△ 30,625	△ 33,730	△ 47,517	△ 49,513	△ 35,116	△ 38,197	△ 3,081
	（８）賞与引当金増減額	2,773	7,442	3,372	△ 792	600	0	2,272	2,272
	（９）貸倒引当金増減額	45	1,039	△ 963	42	628	0	923	923
	計	198,973	283,299	254,923	601,192	860,396	655,569	692,572	37,003
	当年度純損益	40,223	61,831	△ 107,123	△ 448,818	△ 679,507	△ 417,742	△ 184,834	232,908
	資本的収支不足額	73,288	95,324	114,020	128,853	173,494	210,378	151,088	△ 59,290
	予算繰越事業費財源（企業債・県補助金）	0	0	54,360	0	0	0	0	0
	予算繰越事業費（ﾊﾞｲｵﾏｽ設備）	0	0	△ 54,432	0	0	0	0	0
	当年度分内部留保資金	165,908	249,806	33,708	23,521	7,395	27,449	356,650	329,201
	内部留保資金繰越額	1,219,436	1,469,242	1,502,950	1,526,471	1,533,866	1,173,352	1,890,516	717,164
不良債務	（１）流動資産	1,718,371	2,478,478	2,409,366	2,275,439	1,822,665	1,403,742	2,175,224	771,482
	うち未収金	664,493	741,119	1,128,400	675,803	639,794	560,000	800,752	240,752
	（１）流動負債	795,514	1,338,507	1,261,159	1,203,521	713,511	748,569	693,785	△ 54,784
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち企業債	233,116	257,225	280,219	380,591	351,742	451,014	332,911	△ 118,103
	うち未払金	385,458	897,404	790,746	631,170	175,165	120,000	172,201	52,201
	流動比率	216.0%	185.2%	191.0%	189.1%	255.5%	187.5%	313.5%	73.9ﾎﾟｲﾝﾄ
企業債未償還残高		2,710,023	4,510,806	9,752,681	10,298,963	10,464,557	9,831,601	10,201,115	369,514
一般会計繰入金再掲		597,178	590,207	603,639	607,385	755,016	772,131	755,755	△ 16,376